

▼モビブレップ配合内容剤 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】 【分類】経口腸管洗浄剤

【単位】▼2L用/袋 [1袋244.212g]

【常用量】本剤1袋を水に溶解して約2Lの溶解液として排泄液が透明になるまで投与 [最大2L] 用法及び用量■飲用した半量の水分(水、お茶)摂取が必要である

【用法】1L/hrの速度で服用■大腸内視鏡検査：開始予定時間の約3時間以上前から投与を開始■手術前処置：前日の昼食は絶食でその3時間以上経過後に投与を開始

【透析患者への投与方法】腎機能障害のある患者は慎重投与 [体液電解質異常を起こすおそれ] (1)

【保存期 CKD患者への投与方法】腎機能障害のある患者は慎重投与 [体液電解質異常を起こすおそれ] (1)

【特徴】大腸内視鏡検査、大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除に用いられる経口腸管洗浄剤。服用量の半量の水分摂取が必要である。大室(マクロゴール4000、電解質)と小室(アスコルビン酸類)とが隔壁で仕切られたプラスチック容器で構成される二室タイプの製剤。

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー、腸管穿孔、腸閉塞、単径ヘルニア嵌頓、低ナトリウム血症、虚血性大腸炎、マロリー・ワイス症候群、過敏症、頭痛、悪心・嘔吐、血圧変動、脱水、電解質異常など

【安全性に関する情報】過量投与では低Na血症、低K血症、脱水、血液量減少などの重篤な電解質異常を引き起こす可能性 (1) サイアザイド使用CKD患者における高度な低Na血症の症例 (Samad N, et al: Endocrinol Diabetes Metab Case Rep 2017 PMID: 28458891)

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W係数】

【相互作用】経口投与された薬剤の吸収を妨げる可能性がある (1)

【小児CKD患者における報告】小児への使用経験なし (1)

【妊婦・授乳婦への投薬】安全性未確立 (1)

【備考】DM患者では、絶食に関連した低血糖に注意

【更新日】20181201

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。